

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キャンバスアート		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 10日		R8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	R8年 1月 10日		R8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族支援・子育てサポート	個々のご利用者ご家族との日々のやり取りや面談の中から、児童本人の希望、ご家族の希望を受取り、支援に柔軟に反映し、ご家族にとって療育支援が日常の楽しみ・成長実感が得られる時間になれるよう、支援提供の在り方を確立することが出来ました。	交流会・学習会を開催しましたがご参加は限定的でした。今年度開所よりまだ6か月間のため1年間の見通しを作ることが出来ませんでした。来年度より年2回程度、ペアレントトレーニング、ご家族・きょうだい同士の交流機会の開催を計画していきます。
2	園・学校との連携	児童が家庭、園、また就学後、複数の関わる集団生活の中で本人の良さを発揮し、適応的に過ごせることを重要と考えています。そのため、訪問して実際の集団での様子を確認し、児童の生活全体を見通した支援を行っています。	学校・園の環境の中では、先生方が個別的な関りが充分に出来ない場面もあります。支援者が児童の抱える困り感・不安感を受取り、希望を実現できるための方法を、学校・園の先生方と調整していきたいと考えています。そのために集団の中で有効な支援の導入事例等を数多く提案出来るようにしたいです。

3	地域連携・地域移行支援	月1回以上の、様々な地域交流イベントの実施・様々な団体との協働連携を行う中で、児童の人間関係の広がり・活動の広がりを提供しています。	現在は園児～中学生の年齢の利用者のため、連携先も園、学校、相談機関、医療機関が中心となっていますが、将来に渡った支援の連続性が実現できるよう、今後は、全日制高校や通信制高校、就労支援等との連携も図っていきたいと考えています。
---	-------------	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	HPやSNSでの情報発信	日々の支援に重きを置くため、情報発信については、後回しになりがちになっています。	情報発信を業務の1つとして位置付けて、複数人で携わっていくことが出来ないか、検討していきたいです。
2	訓練・研修に関する周知	法人で計画的に訓練・研修を実施しているものの、優先的に保護者の皆様に発信しなくてはならない情報発信の量が多く、比較して、訓練・研修に関する周知が不十分となっている可能性があります。	支援関係の情報、活動・イベント関係の情報、訓練・研修関係の情報と、発信場所を分ける等、保護者が情報量に対して困惑しないような方法を模索したいと考えています。
3			